

当院 COVID-19 専門病棟における軽症・中等症患者の作業療法介入の実態調査

2021年1月から3月までにCOVID-19の治療のためにご入院され作業療法を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「当院 COVID-19 専門病棟における軽症・中等症患者の作業療法介入の実態調査」という研究を行います。この研究は、2021年1月25日より3月22日までに日本医科大学千葉北総病院 COVID-19 専門病棟にて、リハビリテーション（作業療法）を受けられた患者さんの実態調査を行うもので、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当院 COVID-19 専門病棟における軽症・中等症患者の作業療法介入の実態調査

研究期間：倫理委員会承認日～2022年12月31日

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科 岡崎 舞子

(2) 研究の意義、目的について

本研究の意義は、医療者の安全を確保しながら、対象者に対して効果的なリハビリテーションを提供する一助とすることです。目的は、全国的に COVID-19 専用病床での作業療法士の直接的な介入が少ない状況の中で、当院 COVID-19 病棟における軽症・中等症患者に作業療法を行った成績と内容の調査を行い、COVID-19 における効率的な作業療法を検討することです。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年1月25日より3月22日までに日本医科大学千葉北総病院 COVID-19 専門病棟にて、リハビリテーション（作業療法）を受けられた患者さんの情報などを統計解析し、作業療法の成績と内容を調査し、効率的な作業療法の実践方法についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴と併存疾患、COVID-19 重症度、入院前の日常生活動作に対する介護の要・不要、転帰、在院日数、作業療法開始時・終了時の酸素需要、作業療法実施期間・時間・内容、作業療法評価

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科 作業療法士 岡崎舞子

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：0476-99-1111（代表） 内線：5860

メールアドレス：takaya-m@nms.ac.jp